

こんにちは!

村立東海病院であ



みんなの栄養室へようこそ!

入院中の食事の時間は、患者さんにとって楽しみであり、安らぎのひとつでもあります。

栄養室では、おいしく安全な食事を、安心して楽しみながら食べていただけるよう、行事食や季節食、新メニューの導入等に力を入れています。今回は、そんな栄養室の取り組みについてご紹介します。

入院中の食事

入院中の食事は、“医療の一環として提供されるべきもの”という位置付けがあります。個々の患者さんの病状に応じた栄養量を提供するため、管理栄養士と調理師が協力し合い、毎日の献立作成と調理に携わっています。また、食事の質の向上と患者さんへのサービスの改善を目指した話し合いも行っています。

食事の種類

入院中の食事は、大きく分けると「常食」と「特別食(治療食)」があります。

「常食」とは普通食のことで、特別な制限のない食事です。「特別食(治療食)」とは病気の治療に必要な考慮(制限)をした食事です。患者さんの病状に応じて提供する必要があるため、多種多様な食事を準備しています。

個人対応

個々の状況に応じた、栄養と食事のサポートを行っています。

- ▼食べにくい(飲み込みにくい・かみにくいなど)方への食形態
- ▼アレルギー対応
- ▼食欲のない方
- ▼利き手が使えない方等



行事食

病院で提供する食事には、いろいろな制約があ

るため、特に味付けや食事の量においては、全ての患者さんに満足いただけるようにはできないことがあるかもしれません。



そのような中で、月【ハロウィンの行事食(10月31日)】1回程度提供している行事食は、長期入院の方の気分転換になればとの思いを込めて作っています。

栄養相談・栄養指導

【入院栄養指導】

食事療法を必要とする患者さんに対し、管理栄養士による個別の栄養指導を実施しています。

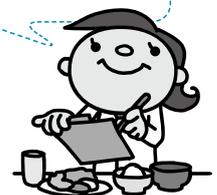
【外来栄養指導】

さまざまな疾患(糖尿病、脂質異常症、高尿酸血症、貧血等)に対して、患者さんや家族の方へ栄養指導を行っています。

また、何を食べたらいいか分からない…、食べ過ぎて太ってしまった…など、食事に関する相談も一人ひとりの生活スタイルを考慮した上で、実践しやすいようなアドバイスをしています。

患者さんから直接、献立や味付けなどについての感想やご意見をいただきながら、今後も、食事を通して、患者さんが少しでも穏やかな入院生活を送れるよう、私たちがサポートしていきます。

村立東海病院栄養室
管理栄養士 照山 陽子



【問い合わせ】村立東海病院(☎282-2188)、福祉保険課地域医療担当(☎287-0899)